



# FAS住まい新聞

発行責任者  
㈱福地建築  
北斗市中野通 324  
Tel 0138-73-5558  
fax 0138-73-8460

## ◇ 白衣の天使 フローレンス・ナイチンゲール ◇

良い看護が行われているかどうかを判定するための基準として、第一にあげられることは、看護師が細心の注意を集中すべき最初にして最後のこと、何をさておいても患者にとって必要不可欠なこと、それを満たさなかったら、あなたが患者のためにするほかのことすべてが無に帰するほどたいせつなこと、反対に、それを満たささえすれば他はすべて放っておいてよいとさえ私は言いたいこと、それは「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」なのである。

「白衣の天使」の由来とも言われ、病院及び医療制度の改革者／フローレンス・ナイチンゲールは、自身の看護覚え書で、このように記しています。

この「看護覚え書」(1860年)は、人類の半分を占める女性たちに向けて、家族の健康を守り、かつ病気から回復するために必要な考え方や視点について、当時の最高の科学的知識を土台にして、人類史上初めて「看護とは何か」という看護の定義を明らかにしたものです。

## ◇ 断熱と気密、換気と空調 ◇

現在は、昔ほど劣悪な住宅環境で無いとはいえ、毎年のようにヒートショック(室内の温度差によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起きること)や熱中症で亡くなる方が後を絶たないのが実情です。

つまりどんなに時代が変わっても、本質の大事な部分は変わらず、今もなお必要なことではないかと思えます。

「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つ」ためには、適切な換気をしながら、かつ換気で外気の影響を受けた室内を適温にするための空調が必要です。

そしてその適温を維持するため、断熱と気密が家族の健康を守るために最低限、住宅に備わっていなければならない性能と言えるのです。

加えて言えば、エネルギー問題がひっ迫する現代においては、少ないエネルギーで適温を維持するために高断熱・高气密性能が必須とも言えます。

適切な換気や空調をするにしても、その室内をしっかりと魔法瓶のように包むように守らなくては、エネルギーの無駄遣いになってしまいます。

## ◇ 屋外の空気と同じ綺麗さに保つこと ≠ 換気 ◇

看護覚え書にて「患者が呼吸する空気を、患者の身体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」と換気的重要性が記されていますが、昨今のコロナ禍によって換気的重要性は増すばかりかと思えます。

しかし「室内を屋外の空気と同じ清浄さに保つこと」は意外と難しいのです。本来換気の本質は、室内の生活で汚れた空気と外気の新鮮な空気とを入れ替えるものです。現代は花粉やPM2.5等の粒子も外気に含まれている場合も多く、必ずしも外気が新鮮空気とは言えない場合があります。

## ◇ 全館空気清浄「ファースの家」クーキーノ ◇

「ファースの家」には、家そのものが空気を清浄する性能を持った空調設備『クーキーノ』という仕様があります。

健康空気循環システム AI キットの一部に、ハイブリッド空気浄化システム「クリーンファンネル」を組み込むことで、PM2.5、黄砂、花粉、埃、ハウスダストを集塵して空気を清浄化させます。

気密性能が低い住宅は、いくら空気清浄機を使っても家の隙間から花粉等が入り込むので効果が期待できない場合もありますが、高い気密性能を持つ「ファースの家」だからこそ可能な仕様です。

ワクチン接種も進み、コロナ感染症も少しずつ良い方向に向かってきました。それでもコロナ禍で根付いた在宅ワークは今後も推奨されていくと思われます。したがって「おうち時間」が長くなり、自身や家族のためにもより良い室内環境がますます重要になってくるのです。

これから家づくりをご検討される方は、価格やデザインも大切ですが、ぜひ家の性能(断熱、気密、換気、空調、空気清浄)にも注目してみてください。

(著: 研究開発室 村上一人)

■ 「ファースの家」クーキーノの詳細はホームページにてご覧ください。

<https://www.fas-21.jp/kukino/>

驚きの性能を実証!クリーンファンネルならきれいな空気を実現。

微細な汚れもしっかり清浄・吸着。PM2.5よりさらに小さな微小粒子もこんなに除去できました。

■ 測定データ



■北海道北斗市内A棟(2016年2月9日)  
【測定方法】健康空気循環システムAIキットを等置させた上で、室内で給電を開始し、給電を室内に充満させた状態で「クリーンファンネル」を稼働させ測定を開始(0時間)とする。経過時間15分ごとにパーティクルカウンター(リオン製KC-01C)にて測定・記録を行った。左記グラフは、0時間時点の室内の粒子数と15分経過後の室内の粒子数を比較し、削減率を算出した。削減率が95%以上であることを示している。  
※上記の条件にて測定されれば、居住後における性能を概算するものではありません。